

スパイントマト祭り

教科・場面

生活

授業・実践のねらい

- 五感で刺激を感じる。
- 教師や友だちとの活動に興味関心を持ち、教師の言葉かけに対して個々の方法で表出する。

対象の児童・生徒

高等部 グループ

- 言葉かけに対して口や指を動かしたり、視線や瞬きしたりして表出する

教材・教具



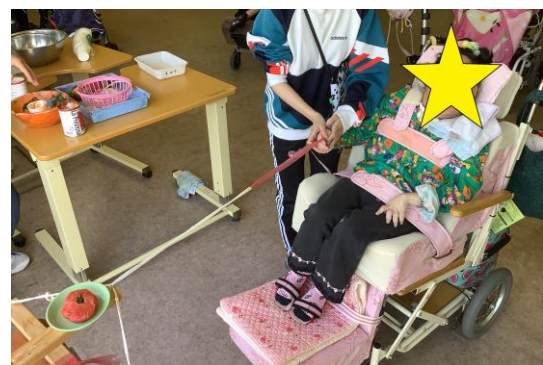
- 生徒それぞれの人型
- 板段に取り付けたあと、数か所裏側から画びょうの針を出す（水風船用）
- 投てき機
- カットトマトを入れる柔らかいカプセル

工夫したところ

- 本物のトマトを使用して、嗅覚への刺激を加えた。
- 障子紙を使用し、当たった部分を染まりやすくし

授業展開・教材の使い方・実践の内容

- 事前にトマト祭りの学習を行う。人に向けて直接投げることはできないなので、的用の人型をとる。
- トマトは柔らかくするために、少し温めておく。
- 板段に貼り付けた人型に、赤い水を入れた水風船や柔らかくしたトマト（丸々1個、またはカプセルに入れたカットトマト）を投てき機で投げて当てる。
- 言葉かけを行い、生徒からの表出を確認して投てきを行った。
- 一人あたり4～6投行った。



授業・実践を通じた児童生徒の変容

- 本物のトマトを投げて人型に当たるとトマト特有の香りがたち、水風船を使ったときよりも目を見開く、表情が和らぐ、口を動かすなど生徒の表出が見られた。
- 次の友だちと交代することを伝えると、まだ続けたいという意思表示をする生徒もいて、活動をとても楽しんでいるようだった。